

インドにおける観光プロモーション事業参加について



シンガポール事務所

CLAIRシンガポール事務所では、2012年2月に行われた観光庁・日本政府観光局（JNTO）のインドにおける観光プロモーション（旅行会社向けセミナーおよび旅行フェア）に参加し、日本各地の観光PR等を行ったので、その内容について下記の通り報告する

記

1 旅行会社向けセミナー「Visit Japan Seminar in Mumbai」

観光庁及び JNTO が主催して、現地旅行会社、メディア等を対象としたセミナー及び商談会・情報交換会が開催された。

【概要】

開催日：2012年2月15日（水）

会場：Four Seasons Hotel

参加者数：135名（旅行会社124名、メディア11名）

日本側の参加者（10団体）：

大阪市、総合ワールドトラベル、サンシャインプリンスホテル、北海道ツーリストセンター、アサヒホリデー、AISC、東京アセアン、JTEC、日本フィルムコミッション、CLAIRシンガポール

※日本側の参加者はシンガポールやタイ等、訪日旅行市場が成熟化しつつある国と違って、いわゆるランドオペレーターが多く参加している。インドの旅行代理店は、ツアーを組み立てる際にどこのランドオペレーターを使うか決まっていなくて多いようであった。

セミナーでは、JNTO シンガポール事務所足立所長及び TAAI(Travel Agents Association of India) West Region 会長 Mr. Iqbal Mulla より挨拶があった後、JNTO のプレゼンテーション、昨年 10 月に東京、金沢、高山、京都、大阪を旅行したジャーナリスト Mr. Irani の旅行の様子紹介及び大阪市の観光 PR プレゼンテーションが行われた。

JNTO のプレゼンテーション内容は下記のとおり。

- ・インド人の旅行先は現在タイ、シンガポール、香港が多いが、本当に行きたい旅行先を聞くと、オセアニア、スイス、アメリカが上がってくる。
- ・個人旅行はまだ少なく、8割がパッケージ旅行である。
- ・東京、富士山、京都、大阪のゴールデンルートが人気である。
- ・今後行きたい旅行先としては、北海道、沖縄が上げられる。沖縄は最近テレビで紹介され、知名度が上がってきている。
- ・問題（ネック）としては、物価、言葉、食べ物が増える。
- ・食べ物に関しては、興味があるところではあるが、問題ともなりうる。

(CLAIR メールマガジン 2012 年 6 月配信：観光特集号)

- ・2012 年は日印国交樹立 60 周年なので、これを機にプロモーションに力を入れていきたい。
- ・Facebook のインド市場向けのファンページの紹介。このページでは、日本の観光スポットの紹介のほか、ベジタリアンが多いインド人向けのレストランリストも掲載してある。

<http://www.facebook.com/VisitJapan.India?sk=wall>

セミナーの後は参加団体がそれぞれブースを設けての商談会・情報交換会が開催され、日本の情報を得るために多くの関係者が集まった。日本側の参加者によると、特に東京、富士山、京都、大阪のゴールデンルートや北海道に関する質問事項が多かった。また、現在日本に行くためにはビザが必要なことから、ビザに関する質問も多く出た（必要書類や所要日数等）。



賑わうセミナー及び情報交換会場

2 旅行博「OTM (Outbound Travel Mart) Mumbai」

(1) OTM 概要

OTM (Outbound Travel Mart) は外国旅行に関する業界関係者向けのインドの主要な旅行フェアであり、現地の旅行会社や一般顧客が多数来場した。

開催日：2012 年 2 月 17 日 (金) ~ 19 日 (日)

会場：Bombay Exhibition Center

出展者数：760 団体 (34 か国)

日本側の参加者 (10 団体)：上記セミナーと同一。

(2) 会場の様子、来場者の状況

会場には、各国の政府観光局 (NTO) や旅行会社、ホテル関係者、クルーズ会社等がブースを連ね、旅行関係者やメディア関係者等が多数来場した。18 日 (土) 午後からは一般向けにも開放され、特に 19 日 (日) は家族連れも多く見かけた。

旅行会社のブースでは、中国、ネパール、タイ、マレーシア、エジプト、アフリカ等のパッケージツアーの PR を行っていた。シンガポールやマレーシアではあまり見かけない、ヒマラヤやアフリカ方面の PR を多く見かけたが、これは東南アジアからよりも距離的に近いことが理由であると考えられる。

また、併設の会場ではインドの国内旅行を PR するフェア (TTF: Travel & Tourism Fair) も同時開催されていた。インドは国内にも様々なバラエティーに富

んだ旅行先があり、海外に行くよりも手軽に行けることから、フェアも大変盛況であった。

【政府観光局（NTO）出展状況】

中国、タイ、インドネシア、フィリピン、スリランカ、トルコ、ロシア、ブータン等



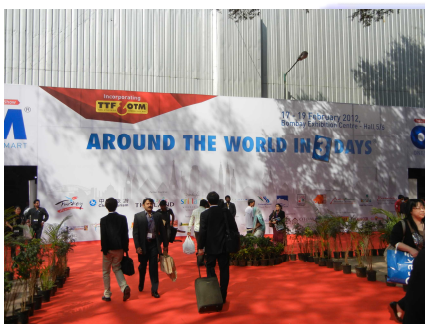
各国 NTO のブース（タンザニア、タイ、フィリピン）

(3) VJ（ビジット・ジャパン）ブースについて

観光庁・JNTO が設置した VJ ブースでは、訪日旅行に関する総合案内窓口として、旅行先としての日本の認知度向上やニーズ把握を図るため、観光パンフレットの配布（日本の各地方自治体、宿泊施設、鉄道会社等）、来場者からの質問全般への対応、DVD の上映、旅行業者へのアンケートを行った。

ブース内には商談テーブルを設け、日系の旅行会社等の担当者が、来場者から寄せられる具体的な問合せや、現地旅行代理店との具体的な商談に応じたほか、今回初めて参加した日本フィルムコミッションの担当者は映画関係者（いわゆる「ポリウッド映画」）から多くの問い合わせを受けていた。

VJ ブースは、特にレジャー目的のプロモーションが評価され、最終日に主催者より「Most Exclusive Leisure Products Award」として表彰を受けた。



会場入り口



VJ ブース

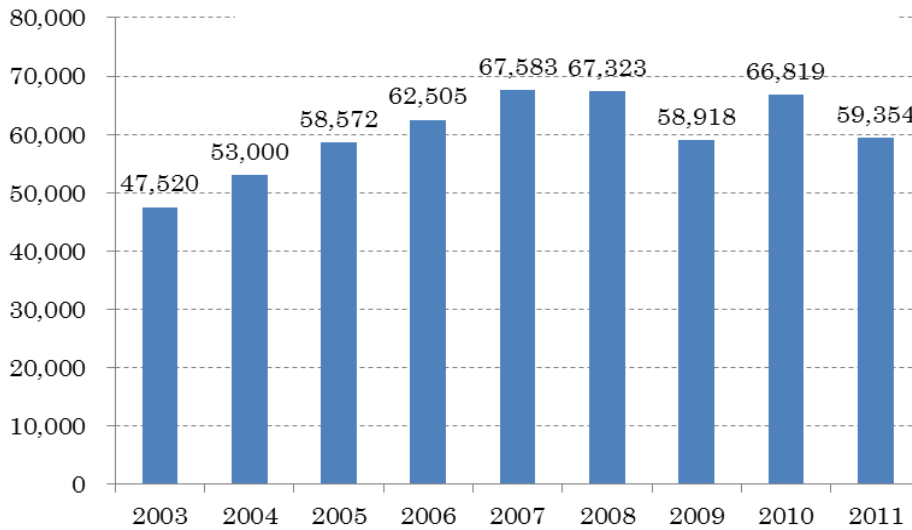


表彰式

3 所感

経済成長とともに訪日者数が増えているインドは、2010 年から観光庁が推進する訪日キャンペーン「ビジット・ジャパン」の対象国となり、2010 年の訪日客数は前年比約 13%増の 66,819 人となった。2011 年は、年間を通してみると 11%減の 59,354 人であったが、11 月、12 月は前年同月比でプラスに転じており、回復の兆しが見え始めている。

インドからの訪日客数の推移 (JNTO 資料より)



旅行先としては、初めて日本に行く人が多いことから、東京、富士山、大阪等を周る、いわゆる「ゴールデンルート」への関心が高く、工場見学や、ロボット関連施設等の人気も高い。旅行形態としては、個人旅行はまだ少なく、ほとんどがパッケージツアーを利用した旅行とのことである。

訪日旅行の際のネックのひとつとなっているのが、食の問題である。ベジタリアンが多いインド人にとっては、食事ができる場所が少ないのではないかと心配する人が多く、「ベジタリアンレストランはあるのか」という質問を受けることが多かった。JNTO のファンページにはインディアン・レストランのリストがあるが、東京周辺にはある程度あるものの、それ以外の地域ではまだ少ないのが現状である。必ずしも「インディアン・レストラン」ではなくてもよいが、ベジタリアンの人が安心して食事ができる環境を整えることが、インド人誘客のひとつの課題となろう。

インドは歴史的、距離的要因から、日本よりもヨーロッパ方面を志向する人が多く、また、ベジタリアンや、温泉で裸になることに抵抗がある、といった人も多いことから、訪日旅行はまだそれほどメジャーではなく、本格的にインドでの観光 PR に取り組んでいる自治体も少ない。

しかし、インドの海外旅行者数は年間約 1,200 万人であり、経済成長とともにその数は 2020 年には 5000 万人になると予測され、大きな可能性を秘めた市場である。また、今年の日印国交樹立 60 周年ということで、JNTO としてもこれをきっかけにプロモーション活動に力を入れていくとのことである。

前述の旅行会社向けセミナーの参加者に訪日旅行の経験を尋ねたところ、旅行会社関係者であっても、実際に訪日経験がある人は極めて少なっただけでなく、旅行会社のセールス担当者等に話を聞くと、まだまだ日本の情報が少なく、どんな情報でもほしいとのことでもあるので、ややハードルの高い市場であるかもしれないが、自治体としてもまずは情報提供からでも、インドへのアプローチを始めてもいいのではないだろうか。

4 その他 (Delhi でのプロモーション活動について)

観光庁・JNTOでは、今回デリーにおいても同様のプロモーション活動を行った。
(CLAIRシンガポール事務所としては参加せず。)

【旅行会社向けセミナー】「Visit Japan Seminar in Delhi」

開催日：2012 年 2 月 13 日 (月)

会場：Leela Palace New Delhi

参加者数：91 名 (旅行会社 74 名、メディア 17 名)

日本側の参加者 (8 団体)：

沖縄観光コンベンションビューロー、総合ワールドトラベル、日通旅行、北海道ツアーリストセンター、アサヒホリデー、AISC、東京アセアン、JTEC

【旅行フェア】SATTE (South Asia's Leading B2B Travel & Tourism Event)

開催日：2012 年 2 月 10 日 (金) ~ 12 日 (日)

会場：Pragati Maidan, New Delhi

出展者数：約 500 団体 (30 か国)

日本側の参加者 (8 団体)：上記セミナーと同一。

片野田元所長補佐 (鹿児島県派遣)
原田所長補佐 (山口県山口市派遣)
Chua 調査員

～次回の旅行フェアの開催予定～

【OTM Mumbai 2013】

日時：2013 年 2 月 8 日 (金) ~ 10 日 (日)

場所：Bombay Exhibition Center

【SATTE New Delhi 2013】

日時：2013 年 1 月 16 日 (水) ~ 18 日 (金)

場所：Pragati Maidan, New Delhi